

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年(2020年)3月31日

上田地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	12	課題区分	C		
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属 林務課
事業名	森林認証材利用拡大推進事業			電話	0268-25-7138
				E-mail	uedachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	地域内で生産された森林認証材の利用拡大			
	現状と課題	<p>東京オリンピック・パラリンピックの選手村や競技施設の整備等においては、国際基準に合致した森林認証制度(FSC、SGEC)に基づく認証材が採用されるなど、持続的な森林経営を行っている森林から生産された認証材は国際的に標準となってきた。</p> <p>上田地域では県や市町村等が管理する森林約9千haで、平成28年度にSGEC森林認証制度に基づく森林認証(FM森林)を取得。その後、佐久地域や南信州地域の一部でも当該認証制度に基づくFM森林認証を取得。さらには県内の木材市場や製材工場等でも森林認証材を適切に分別・管理するため流通加工認証(CoC認証)の取得が進んできている。</p> <p>このような中、国内での森林認証材の需要は非常に少ない状況であるが、平成31年度から森林環境譲与税の譲与が始まること等を踏まえ、地域内外において森林認証材の普及・浸透を進めて利用促進を図る必要がある。</p>			
概要	内容 (変更後の内容)	<p>1 森林認証材利用拡大推進事業</p> <p>○ ねらい 森林認証材の利点である①持続的な森林経営を行っている森林(FM森林)から生産された木材であること、②生産から加工流通までのトレーサビリティが明確(CoC認証)であることをPRし、認証材の「普及浸透」と「利用拡大」を図る。</p> <p>○ ターゲット 地域内の工務店・建築士等(住宅を建築・改築しようとする施主(エンドユーザー)を含む)や都市部等の地方自治体及び地域貢献・環境保全に関心の高い民間企業等。</p> <p>○ 方法 佐久地域等と連携し、地域内や首都圏等においてPR活動を実施する。</p>			
	事業期間	平成31(2019)年4月		～	令和2(2020)年2月
等	成果目標 (成果指標)	地域内の森林認証材出荷量の増加 (H29) 16,520m ³ → (5年後) 25,000m ³			
費業	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	森林認証材利用拡大推進事業	都市部等でのPR活動	100,000	旅費	
	合計		100,000		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<p>○ 県内での主な活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内認証協議会との打合せ(R1.8.5長野市) ・佐久地域との合同研修会(R1.9.3佐久市) ・上田地域産業展出展PR(R1.10.25-26上田市) <p>○ 県外での主な活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏自治体へのPR活動(R1.6.24練馬区) ・首都圏イベントでの出展PR(R1.12.10-12東京ビッグサイト) <p>○ 県内外で情報収集や打合せ等を実施</p>		<p>○ 東御市の木質バイオマス発電施設管理棟建設では東信カラマツが、軽井沢の練馬区所有の保養施設改修では上田市武石財産区のスギが利用されるなど、認証材の消費者への普及浸透や利活用が進んだ。</p> <p>○ 県内外での普及活動を通じ、上田地域の認証材出荷量はH30年度までは順調に増加したが、R元年東日本台風(台風第19号)災害の影響で秋以降の生産がストップし、元年度の出荷量は大きく減少した。</p> <p>H30: 15,502m³ → R元: 7,866m³</p>		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
今後の方向性	SDGsへの貢献や「気象非常事態宣言」、森林環境譲与税の活用等を踏まえて管内市町村と関係の深い首都圏自治体や企業等を中心に、今後も引き続き認証材(特に東信カラマツ)の普及浸透や販路拡大を進める。				